

議決権行使レポート

証券コード 4538

会社名 扶桑薬品工業

	賛成	反対	棄権
第1号議案 剰余金の処分の件	○		
第2号議案 取締役選任の件			
戸田 幹雄 氏	○		
岡 純一 氏	○		
伊藤 雅教 氏	○		
大谷 英樹 氏	○		
戸田 幹洋 氏	○		
須藤 実 氏	○		
柏木 孝 氏			○
渡部 靖彦 氏	○		
第3号議案 監査役選任の件			
檜崎 隆章 氏	○		
第4号議案 退任取締役及び退任 監査役に対する退職慰労金贈呈の 件			
高橋 貞雄 氏		○	
松岡 大藏 氏			○

上記の推奨理由

<第1号議案> 剰余金処分の件→賛成

①今回の議案では期末配当を1株当たり40円にする方針とのこと。下記の表からもわかる通り、配当額、配当性向ともに安定した傾向であるといえる。そして、利益剰余金も年々増加しており、配当増額は経営不安につながるとは考えられない。また、グラス・ルイス社の議決行使基準では剰余金配当に関しては原則賛成との意見を出している。ISSの議決行使基準では**配当性向15~100%**であれば通常賛成とのこと。扶桑薬品では4年間配

当性向がこの枠組のなかで推移しており、賛成に値するといえる。

	2020	2021	2022	2023
1株当たりの期末配当額 (円)	30	30	30	40
配当性向(%)	74.4	32.8	35.5	38.2
利益剰余金(億円)	127	138	147	158

<第2号議案>取締役選任の件 ※氏名の横の●は独立社外であることを示している

①戸田幹雄氏

1979年に代表取締役役に就任してから40年以上強いリーダーシップで会社を仕切っている。その経営手腕は疑うことがないといえる。よって賛成。

②岡純一氏

50年以上会社に従事しており、城東、茨城の工場において工場長を務めあげている。経営業務と生産・品質管理分野にたけており、会社の経営方針をよく理解していると考えられる。よって賛成。

③伊藤雅教氏

50年近く扶桑薬品に務めており、主に研究開発に携わっていて、取締役就任後も精力的に研究開発にいそしんでいるそう。企業価値の向上に欠かせないと考えられる。よって賛成。

④大谷英樹氏

30年近くの長いキャリアにおいて営業の中枢を担っており、引き続き取締役として尽力されると考える。よって賛成。

⑤戸田幹洋氏

国際協力開発機構での海外経験が豊富であり、海外プロジェクトも推進する扶桑薬品にとって取締役として重要な人物といえる。よって賛成。

⑥須藤実氏 ●

須藤氏は直接扶桑薬品の経営に携わったことがないため、外部の視点から会社の成長を支えることができると考える。よって賛成。

⑦柏木孝氏 ●

柏木氏は大阪市副市長の経験があり、会社にとっては貴重な地方公共団体からの視点を保持している。ただ、直接の企業経験がないため、突然会社のトップとして権力を発揮することは従業員からの不満が出てしまうのではないかとの懸念が考えられた。よって棄権。

⑧渡部靖彦氏 ●

今回が新任とのことだが、40年近く前から監査としてのキャリアを蓄積しており、株式会社ケー・エフ・シーや株式会社エムケイシステムといった会社で社外監査役を務めるなど経験豊富なため扶桑薬品においても経営に大きな期待を寄せられる。よって賛成。

下記の表は2023年度扶桑薬品株主総会招集通知の表を参考に作成したものである(株西総会招集通知は下記に参考文献として掲載している)。この表を見ると、取締役会の中で、**専門的な分野がまんべんなく広がっている**ことがわかる。このことは経営において多角的な視点から把握できるということから非常に優れていると考える。また、ルイス・グライスの議決権行使基準によると、扶桑薬品、つまり支配株主をもたないプライム上場会社は**取締役会の3分の1は独立社外**であることが求められている。扶桑薬品は**取締役8人に対し3人が独立社外**であるためこの基準を満たしている。よって、第二号議案全体としては賛成。

		企業経営	法務・リスク管理	財務・会計・税務	グローバル	生産・品質管理	研究開発・知的財産	医薬マーケティング	独立社外
取締役	戸田幹雄氏	●							
	岡純一氏	●				●			
	伊藤雅教氏	●					●		
	大谷英樹氏	●						●	
	戸田幹洋氏	●			●				
	須藤実氏			●					●
	柏木孝氏		●						●
	渡部靖彦氏			●					●
監査役	桑田順司氏							●	
	青木悦男氏		●						●
	檜崎隆章氏			●					●

<第3号議案>監査役選任の件

①檜崎隆章氏

30年近く大阪国税局で働いた経歴を持ち、現在は個人税理士事務所を開設している。新

任であるが、客観的な視点から正確な監査をできると判断。よって賛成。

<第4号議案>退任取締役及び退任監査役に対する退職慰労金贈呈の件

グラス・ルイス社によると退職慰労金については業績連動型報酬の導入を強く要請しており、社内外監査役については独立性を保つため退職慰労金の支給の必要性はないとしている。ISSでの基準でも対象者に社外監査役がいる場合、また個別の支給額が明記されていない場合は反対を推奨している。なお、扶桑薬品の株主総会招集通知には支給額が明記されていなかった。

①高橋貞雄氏

高橋氏は取締役兼経理部長として2009年から現在まで扶桑薬品の重役としてご活躍されてきた。グラス・ルイス社の基準には該当するものの、ISSの基準である個別の支給額の明記がないため信頼性に欠けると判断。よって棄権。

②松岡大藏氏

松岡氏は20年近く社外監査役としてご活躍されてきた。ただ、社外監査役である点と個別の支給額が明記されていない点から退職慰労金贈呈には適していないと考える。グラス・ルイス社は業績連動型報酬には強く賛成しているため、より具体的な功績などの情報開示が必要だと考える。よって反対。

<参考文献>

扶桑薬品工業 2023年定時株主総会招集通知

<https://www.bing.com/ck/a?!&&p=d53284a8f690a170JmltdHM9MTY4NzZM5MjAwMCZpZ3VpZD0wMjg0NDBmNC1kNWFjLTZmMGItMmMzYS01MjJjZDQ0NjZIN2MmaW5zaWQ9NTE5MQ&pptn=3&hsh=3&fclid=028440f4-d5ac-6f0b-2c3a-522cd4466e7c&psq=%e6%89%b6%e6%a1%91%e8%96%ac%e5%93%81%e5%b7%a5%e6%a5%ad%e6%a0%aa%e5%bc%8f%e4%bc%9a%e7%a4%be%e6%8b%9b%e9%9b%86%e9%80%9a%e7%9f%a5&u=a1aHR0cHM6Ly93d3cubmlra2VpLmNvbS9ua2QvZGlzY2xvc3VyZS90ZG5yLzlwMjMwNjAyNTkzNTgxLw&ntb=1>

PROXY PAPER GUIDELINES

<https://www.bing.com/ck/a?!&&p=d7388a88ced11fa5JmltdHM9MTY4NzQ3ODQwMCZpZ3VpZD0wMjg0NDBmNC1kNWFjLTZmMGItMmMzYS01MjJjZDQ0NjZIN2MmaW5zaWQ9NTE5MQ&pptn=3&hsh=3&fclid=028440f4-d5ac-6f0b-2c3a-522cd4466e7c&psq=%e6%89%b6%e6%a1%91%e8%96%ac%e5%93%81%e5%b7%a5%e6%a5%ad%e6%a0%aa%e5%bc%8f%e4%bc%9a%e7%a4%be%e6%8b%9b%e9%9b%86%e9%80%9a%e7%9f%a5&u=a1aHR0cHM6Ly93d3cubmlra2VpLmNvbS9ua2QvZGlzY2xvc3VyZS90ZG5yLzlwMjMwNjAyNTkzNTgxLw&ntb=1>

